

www.r-toolbox.jp

toolbox

オーダー框ドア

目次

安全上のご注意	1
各部名称／納まり図	2
施工前の確認／施工手順	3

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
いけない注意事項



やってはいけない
注意事項



しなければいけない
強制事項

株式会社 TOOLBOX

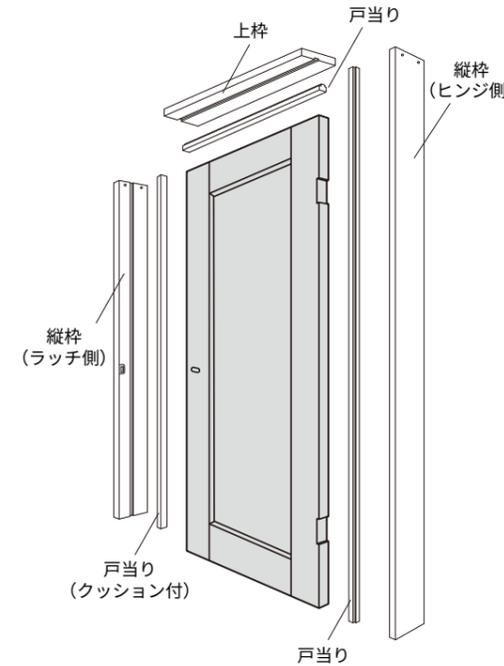
URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意

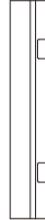
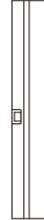
設置前にご確認ください

-  商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
万一商品に破損や異常がある場合・部品が不足している場合は、contact@toolbox.jp までご連絡ください。
-  製品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け保管してください。
-  内装ドア以外への転用および改造は行わないでください。
-  ドア本体・ドア枠は塗装済みで納品されます。
現場に合わせてカットする際は金尺、工具で傷をつけないように養生してからカットしてください。
-  枠は必ずスペーサーを入れ、水平垂直を保ったままドアを吊り込んでください。
-  ねじ止め箇所は、指定してあるねじを全て確実に止めてください。
-  ドア本体は重いもので約 50kg あります。
建て込みの際には三人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
-  組立・取り付け完了後、開閉作動や施解錠が正常に行うことができること、
および使用上の不具合がないか確認してください。
-  施錠した状態で枠とドア間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。
不具合がある場合は確実に建て付け調整をしてください。
-  引渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
-  ご使用の直前に色の沈殿等がなくなるまでよく混ぜて、早めにご使用ください。
(時間が経つと硬化します。)

各部名称・付属部品

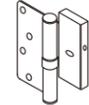
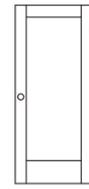


● 固定枠セット

	上枠	縦枠 (ヒンジ側)	縦枠 (ラッチ側)	戸当り	枠固定 組立ビス
部 品 名					 3.3×50
数 量	1 本	1 本	1 本	各 1 本	1 セット

※クッション付
(ブラック/ベージュ)
お好みの色を
ご使用ください

● 金物セット

	3次元ヒンジ	調整ストライク	開戸本体
部 品 名	 長ビス (枠側) 皿 3.3×50 短ビス (ドア側) 皿 3.3×25	 取付ビス	
数 量	2 個	1 個	1 枚

● 建具

納まり図

図面は QR コードからご確認ください。



各種納まり図【PDF】



姿図_枠なし【PDF】



姿図_固定枠【PDF】

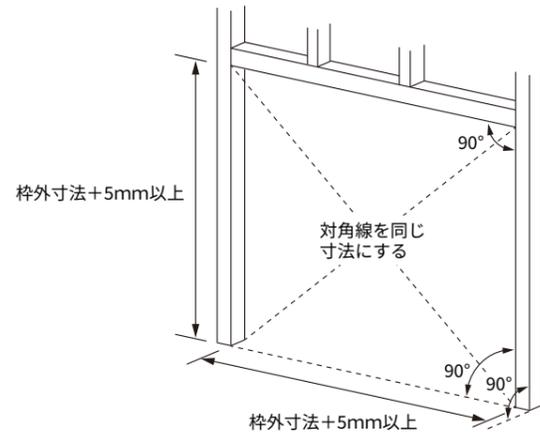
施工前の確認

！ 開梱後、枠材本体及び付属部品に不足や損傷がないか確認してください。

施工手順

① 開口部の準備

1. 納まり図を確認のうえ、枠外寸法 +5mm 以上のラフ開口を設けてください。
2. 下げ振りやレーザーを使い水平、垂直を出し開口寸法を確認してください。

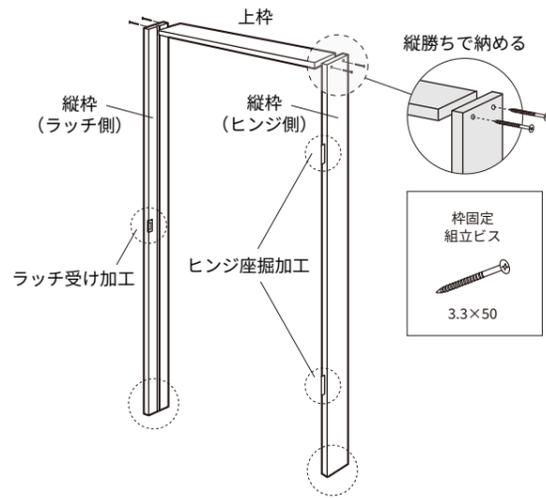


注意

枠材は木製品です。
木製品特有の伸縮により寸法に誤差や軽微な反りが生じることがあります。

外そり 内そり ねじれ

② 枠の組立



2. 枠の向き、上下左右の確認をしてください。
3. 枠を組み立ててください。
縦枠・上枠の接合部にずれがないことを確認し、同梱の枠組立ビスで固定してください。

注意

- 縦枠と上枠の戸当り溝が合っていることを確認してください。
- 左右 (LR) がありますので、組立前にご確認ください。

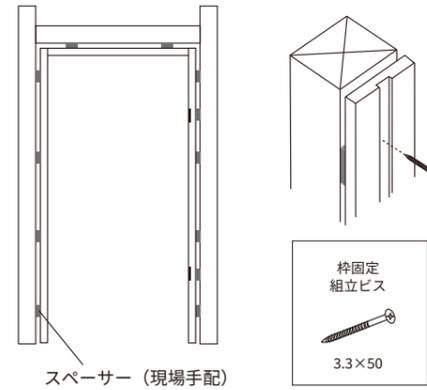
左開きタイプ (L) 右開きタイプ (R)

扉を手前に開く状態で、扉の丁番が右にあるものが右開きタイプ(R)、左にあるものが左開きタイプ(L)です。

1. おおよそ横枠 L1100・縦枠 L2500 で納品されますので、現場に合わせてカットしてから組み立ててください。
現場に合わせてカットする際は金尺、工具で傷をつけないように養生してからカットしてください。

③ 枠の取付

1. スパースーを用いて間柱、まぐさへ枠を固定してください。
2. 対角寸法を計測し、枠の建付けを確認してください。



注意

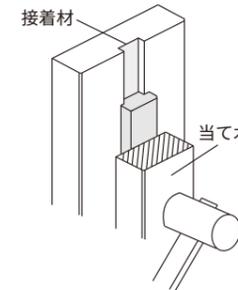
- 取付けの際、枠が下図のようにならないようご注意ください。
- ヒンジ取付位置には必ずスパースーを入れてください。

傾き 外そり 内そり

スパースー (現場手配)

④ 戸当りの取付

1. 戸当りを枠寸法の納まりに合わせてカットしてください。
2. 接着剤、フィニッシュネイル等を使用し取付けてください。



注意

- 塗装済み戸当りはマスキングテープ等を貼り付けて、その上からのカットを推奨します。
- クッション付き戸当りは縦枠のストライク加工側へ取付けます。

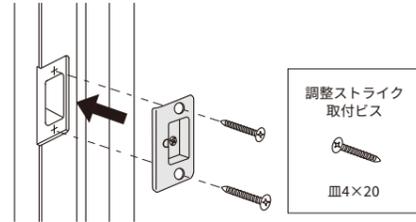
養生しないでカットした場合、カット面にバリ、欠けが発生する可能性があります。

戸当りクッション

ストライク加工側

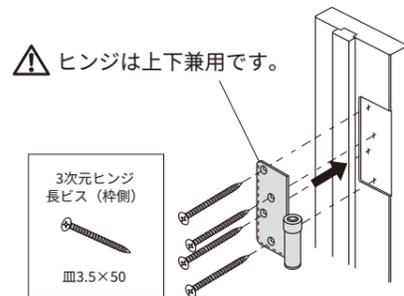
5 調整ストライクの取付

調整ストライクの取付位置に下穴をあけ、同梱のビスで取付けてください。



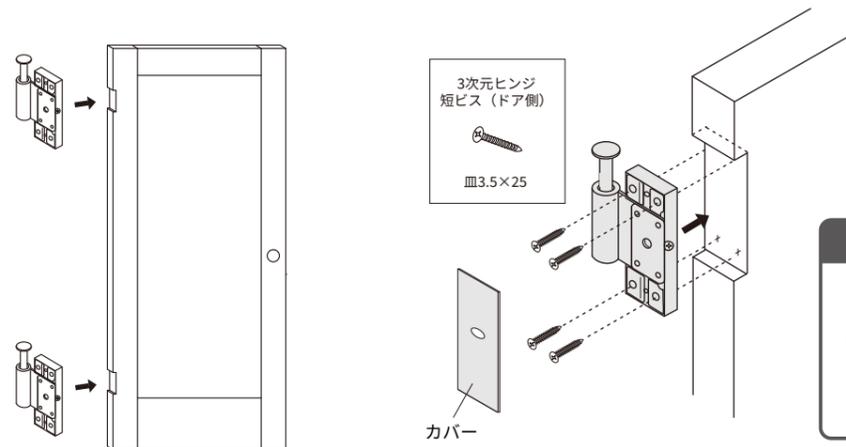
6 ヒンジの取付（枠側）

1. 縦枠のヒンジ取付位置に下穴をあけてください。
2. 枠側ヒンジ取付ビスを使用し、躯体までビスが届くように固定してください。



7 ヒンジの取付（ドア側）

1. ドアのヒンジ取付位置に下穴をあけてください。
2. ヒンジカバーを外し、ドア側ヒンジ取付ビスで固定してください。
3. 取付後、ヒンジカバーを上下の向きに注意し取付けてください。

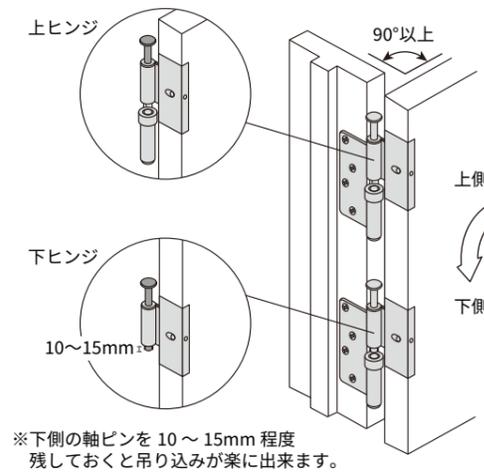


注意

- ヒンジは上下兼用です。
- ドアに部品を取付ける時は、ドアに傷が付かないように養生してから取付けてください。

8 ドアの吊り込み

1. 上ヒンジの軸ピンを軸の下側から出なくなるまで引き上げてください。
2. 下ヒンジの軸ピンを軸の下側より 10～15mm 程度残して引き上げてください。
3. ドアを吊り込んでください。
4. ドア下側のヒンジを差込み、ドア上側のヒンジの位置が決まったら軸ピンを落とし込んでください。



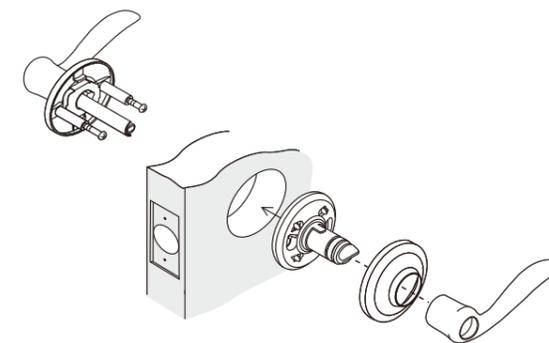
注意

- ドアと枠の角度を90度以上開いて作業をしてください。
- 差込枠使用の場合、吊り込み時にドア上端が差込ケーシングに当たらないように注意してください。
- 軸ピンの動きが硬い場合は、ブラハンマー等で優しく叩いてください。
- ドアの外し方
ドアを外す際は、吊り込み時と逆の手順で行ってください。

ドアを持ち上げて枠のヒンジから外します。

9 ハンドルの取付

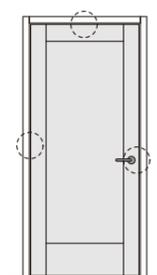
ハンドルの取付方法は購入されたハンドルセットにより異なります。取付するハンドルセットの取付説明書に従って取付けてください。



10 ドアの建付けの確認

ドアの開閉具合、ラッチの掛かり、クリアランスなどを確認してください。

必要に応じてヒンジとストライクの調整を行ってください。



⚠ 注意

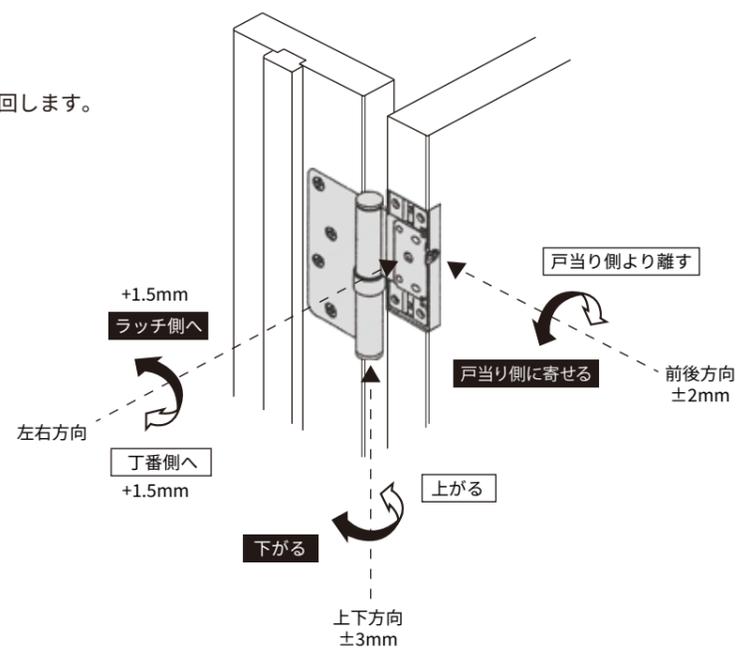
調整する時は、手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。

ヒンジの調整方法

カバーを外し、調整ねじをプラスドライバーで回します。
前後・左右・上下に調整可能です。

<調整量>

- 前後方向：±2mm
- 左右方向：丁番側へ 1.5mm
ラッチ側へ 1.5mm
- 上下方向：±3mm



調整ストライクの調整方法

調整ねじをプラスドライバーで回します。
左右に調整可能です。

※ 調整量は 4mm です。

